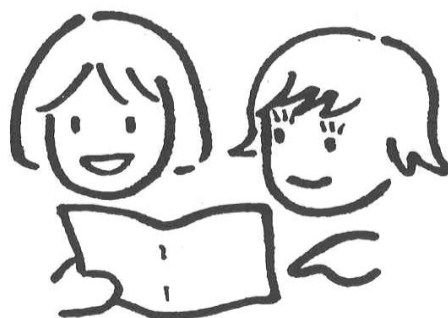


## < 資料編 >



\*「第2次東村山市子ども読書活動推進計画」本編は別にあります

## 資料1 市立図書館事業一覧

### 全般

「東村山市子ども読書活動推進計画」事務局  
 「東村山子ども読書連絡会」事務局  
 「子どもと本の人材バンク」事務局  
 市立図書館ホームページでの発信（子ども向け、ティーンズ向け、保護者・子どもに関わる人向け）  
 わくわく子ども読書まつり（「子ども読書の日」PR事業）の実施

### 館内サービス

#### 乳幼児への取り組み

発行物	乳幼児向けおすすめ絵本リスト・啓発パンフレット『おひぎのうえでシリーズ』
行事等	おはなし会（赤ちゃん絵本ひろば、2・3才のおはなし会、0～3才のおはなし会、幼児のおはなし会）・布の絵本プレイルーム
本のコーナー	「おひぎのうえで」・「子育て情報」等の常設コーナー設置

#### 小学生への取り組み

発行物	児童向け利用案内『はじめまして！としょかんです』 保護者向け手引き『読み聞かせのポイント』 保護者向けテーマ別読み聞かせ用絵本リスト・学年別読み聞かせ用絵本リスト 小学生向け夏休み用ブックリスト『いい本みつけた』 小学生保護者向けちらし『夏休み！親子で図書館へどうぞ』 ブックリスト『小・中・高校生のためのいのちの大切さを考える本』 小学生向け図書館見学ガイド
行事等	保護者向け読み聞かせ入門講座 小学生本の感想画展示 小学生のおはなし会 夏休み親子豆本作り教室 夏休み親子図書館体験
本のコーナー	季節やテーマに合わせた本のコーナー設置 「子育て情報」・「読み聞かせ情報」・「教科書」・「東村山の本」・「おたのしみ」等の常設コーナー設置

## 中学生への取り組み

発行物	中学生向け『図書館の仕事—実務編—』 中学生向け夏休み用ブックリスト『いい夏みつけた』 ブックリスト『小・中・高校生のためのいのちの大切さを考える本』 中学生～一般向け『全生園とハンセン病を知る—ブックリストと資料』 中・高校生向け『としょかん ALL Right』 中・高校生編集による新聞『EXPO新聞』
行事等	利用者同士の情報交換用「ティーンズノート」設置 投稿イラストの掲示用「ティーンズイラストコーナー」設置 夏休み1日図書館員「図書館仕事人」 図書館学生ボランティア受け入れ・ボランティア交流会

## 高校生等(おおむね16～18歳)への取り組み

発行物	若い人向けブックリスト『いい瞬間(とき)みつけた』 ブックリスト『小・中・高校生のためのいのちの大切さを考える本』 中学生～一般向け『全生園とハンセン病を知る—ブックリストと資料』 中・高校生向け『としょかん ALL Right』 中・高校生編集による新聞『EXPO新聞』
行事等	利用者同士の情報交換用「ティーンズノート」設置 投稿イラストの掲示用「ティーンズイラストコーナー」設置 夏休み1日図書館員「図書館仕事人」 図書館学生ボランティア受け入れ・ボランティア交流会

## バックアップサービス

### 子どもの読書に関わる市民(個人・団体)への取り組み

発行物	「子どもと本の人材バンク」登録者用案内 「東村山子ども読書連絡会」案内
本の支援	ボランティア活動用図書相談受付・特別貸出 「東村山市文庫・サークル連絡会」への新刊図書紹介
実施事業	子ども読書応援団養成講座(市民と図書館でつくった実行委員会で実施) 子どもの読書に関わる講座への協力(図書紹介・講師等) 「大人のためのおはなし会」等市民団体との協働事業 「乳幼児への読み聞かせボランティア」への研修・交流会

## 子ども関連施設(学校以外)への取り組み

発行物	乳幼児保護者向け利用案内（3～4か月児・1歳6か月児健診時配布用、3歳児健診時配布用） 子ども関連施設の先生向け利用案内 ファミリーサポートセンター提供会員向け利用案内
本の支援	保育園・幼稚園・児童館等への特別貸出・配送 「おすすめ絵本パック」の配置（子育てひろば、おひさま広場等）
実施事業	3～4か月児健診、乳児学級への読み聞かせボランティア派遣 子育てひろば・おひさま広場への読み聞かせボランティア派遣 保育園への読み聞かせボランティア派遣 児童館図書室整備

## 小学校への取り組み

発行物	小学校・中学校先生向け利用案内 学校図書館管理運営マニュアル『学校図書館の手引き』
本の支援	小学校1年生読み聞かせ図書セット、学級文庫用図書セットの特別貸出・配送 調べ学習用図書の特別貸出・配送 再利用図書寄贈
実施事業	小学校3年生および特別支援学級の図書館見学受け入れ 小学校4年生へのブックトーク訪問 特別支援学級へのおはなし会訪問 学校図書館用図書購入の相談受付・学校図書館整備 司書教諭連絡会、東村山市教育研究会図書館部会への協力

## 中学校への取り組み

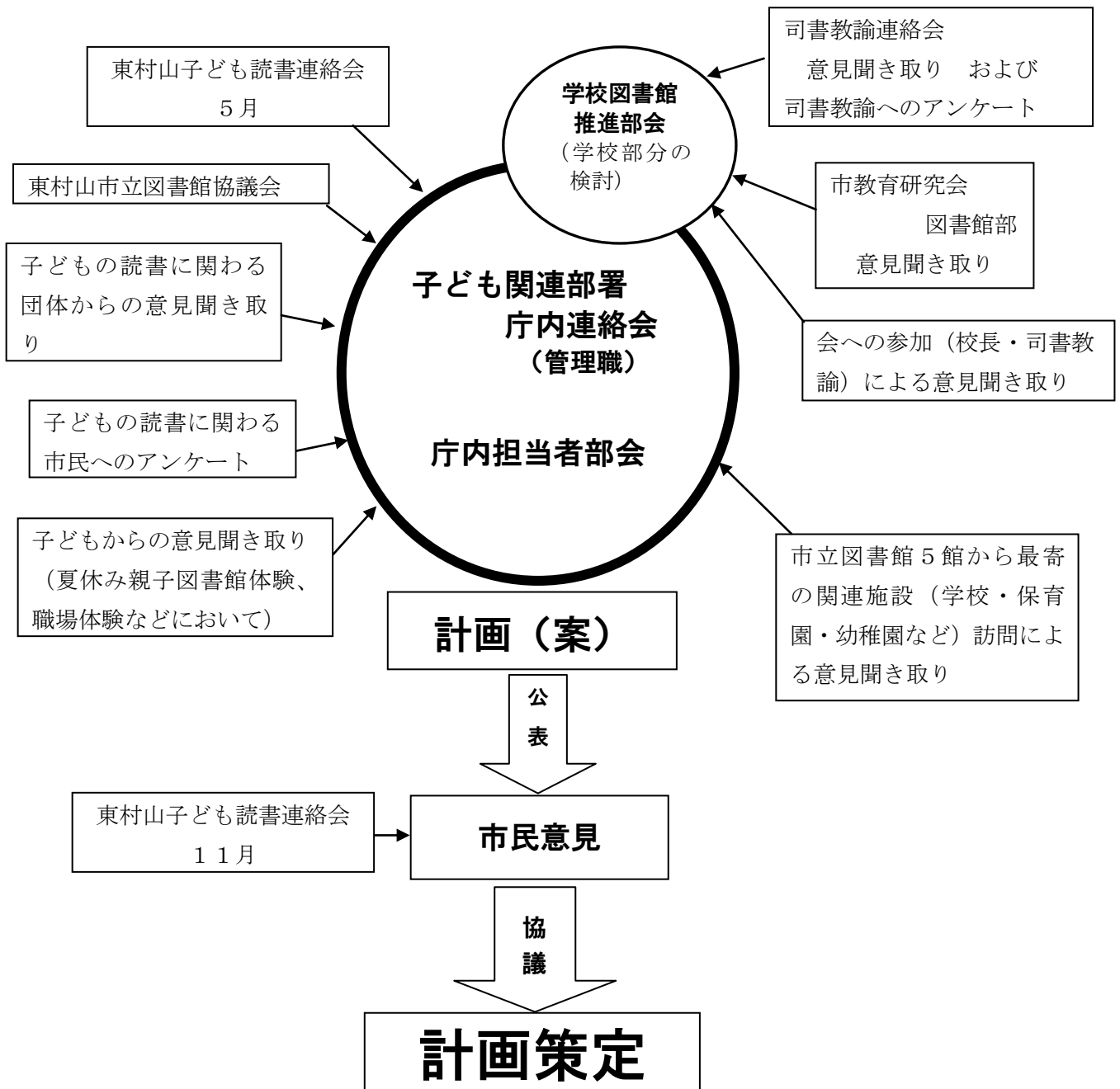
発行物	小学校・中学校先生向け利用案内 学校図書館管理運営マニュアル『学校図書館の手引き』
本の支援	調べ学習用図書の特別貸出・配送 再利用図書寄贈
実施事業	職場体験受け入れ 学校図書館用図書購入の相談受付・学校図書館整備 司書教諭連絡会、東村山市教育研究会図書館部会への協力

## 高校等への取り組み

実施事業	職場体験受け入れ
------	----------

## 資料2 計画策定体制① 策定のしくみ

第1次計画は、「東村山市子ども読書活動推進計画策定協議会」から教育委員会にいただいた提言をもとに策定しました。第2次計画は、第1次計画を実施する中で築いた市民の皆さんや関連施設との連携体制を活用しながらご意見を聞き取り、子ども関連部署で協議して「計画案」をつくりました。「計画案」は公表し、広く市民の皆さんのご意見を募集したのちに、本計画を策定しました。



### 資料3 計画策定体制② 市民意見聞き取り方法

- 子どもの読書に関わる市民（個人・団体）や子ども関連施設から意見を聞き取り、計画策定の参考にしました。

手 法	会の名称等	対 象
会議等を活用した聞き取り	東村山子ども読書連絡会	市民
	東村山市立図書館協議会	図書館諮問機関
	司書教諭連絡会	司書教諭
	市教育研究会図書館部	教員
	学校図書館推進部会	校長・司書教諭参加
子どもの読書に関わる団体からの聞き取り	おはなしグループ「トックのかご」	市民
	紙芝居サークル「原っぱ」	市民
	東村山学校図書館ボランティアの会	市民
	東村山市文庫・サークル連絡会	市民
	東村山布の絵本企画室	市民
	富士見図書館友の会	市民
アンケート	子どもと本をつなぐ会「東村山うちでのこづち」 7人	市民
	「大人のためのおはなし会」の参加者 39人	市民
	「子ども読書応援団養成講座2009」 ①～④の参加者 146人	市民
	司書教諭 18人	司書教諭
施設訪問等による聞き取り (次ページ <a href="#">資料4</a> )	保育園・幼稚園・学校等 100か所	子ども関連施設

- 子どもからの意見は、「夏休み親子図書館体験」「職場体験」「夏休み1日図書館員・図書館仕事人」などの機会に直接、またはアンケートにより聞き取り、計画策定の参考にしました。
- 東村山市第4次総合計画についていただいた「東村山の未来を考える市民会議」からの提言や、東村山市次世代育成支援行動計画（東村山子育てレインボープラン）への市民意見を計画策定の参考にしました。

## 資料4 計画策定体制③ 子ども関連施設訪問先一覧

市立図書館5館より最寄の関連施設を訪問し、施設長や担当者から意見を聞き取りました。

	施設数	施設名
市立小学校	15	化成小学校 回田小学校 大岱小学校 秋津小学校 八坂小学校 萩山小学校 南台小学校 久米川小学校 東萩山小学校 青葉小学校 北山小学校 秋津東小学校 野火止小学校 久米川東小学校 富士見小学校
市立中学校	8	東村山第一中学校 東村山第二中学校 東村山第三中学校 東村山第四中学校 東村山第五中学校 東村山第六中学校 東村山第七中学校 東村山第三中学校萩山分校
	1	希望学級（健全育成学習室）
私立中学校 私立高等学校	3	桜華女学院中学校・高等学校 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校 明法中学校・高等学校
都立高等学校	2	東村山高等学校 東村山西高等学校
公立認可保育園	8	第一保育園 第二保育園 第三保育園 第四保育園 第五保育園 第六保育園 第七保育園 第八保育園
私立認可保育園	8	つぼみ保育園 久米川保育園 花さき保育園 東大典保育園 ふじみ保育園 わくわく保育園 りんごっこ保育園 つばさ保育園
認証保育所	5	空飛ぶ三輪車 りんごっこ第一保育園 あいあい保育室 空飛ぶ三輪車・秋津保育所 チャイルドホープ
認可外保育室	6	たんぽぽ保育園 みゆき保育所 こひつじ園 いづみ愛児園 緑風荘保育所 ことり保育室
子育て関連施設	12	東村山市子育て総合支援センター「ころころの森」 みすみ子育てひろば ほんちょう子育てひろば のぐちちよう子育てひろば 秋津東おひさま広場 青葉おひさま広場 回田おひさま広場 野火止おひさま広場 南台おひさま広場 萩山おひさま広場 久米川おひさま広場 久米川東おひさま広場
幼稚園	11	秋津幼稚園 麻の実幼稚園 暁星幼稚園 久米川幼稚園 精心幼稚園 多摩みどり幼稚園 東村山しらぎく幼稚園 東村山むさしの幼稚園 まりあ幼稚園 美住幼稚園 南台幼稚園
児童館	5	秋津児童館 栄町児童館 富士見児童館 北山児童館 本町児童館
児童クラブ 育成室	16	化成児童クラブ 萩山児童クラブ 南台児童クラブ 青葉児童クラブ 東萩山児童クラブ 久米川児童クラブ 回田児童クラブ 秋津東児童クラブ 野火止児童クラブ 久米川東児童クラブ 富士見児童クラブ 秋津育成室 栄町育成室 富士見育成室 北山育成室 本町育成室
合計	100	（うち3施設は電話で聞き取り）

## 資料5 計画策定体制④ 行政内の体制

### <子ども関連部署庁内連絡会>

教育部 部長	榎本 和美
教育部 次長	曾我 伸清
教育部 図書館長	木村 稔
教育部 指導室長	小澤 雅人
教育部 学務課長	平島 亨
子ども家庭部 子ども総務課長	伊藤 博
子ども家庭部 子育て支援課長	小林 真知子
子ども家庭部 子ども育成課長	山口 俊英
子ども家庭部 児童課長	野口 浩詞
子ども家庭部 子育てエリア担当主幹	並川 恭子

### <庁内担当者部会>

教育部 指導室	小林 宏 (指導主事)
教育部 学務課	茅野 まゆみ
子ども家庭部 子ども総務課	小澤 千香 (地域支援担当主査)
子ども家庭部 子育て支援課	八丁 千鶴子 (保健師)
子ども家庭部 子ども育成課	中丸 孝子 (保育士・第七保育園統括主任)
子ども家庭部 児童課	磯田 恵子 (児童厚生員・東萩山児童クラブ)
子ども家庭部 子育てエリア担当	当間 弘志 (子育てエリア担当主査)
教育部 図書館	新倉 敦子 (司書・奉仕係長) 木村 弘美 (司書・中央図書館児童担当) 並木 直江 (司書・中央図書館ティーンズ担当) 小山 美年 (司書・秋津図書館児童担当)

### <学校図書館推進部会>

教育部 部長	榎本 和美
教育部 次長	曾我 伸清
教育部 図書館長	木村 稔
教育部 指導室長	小澤 雅人
教育部 学務課長	平島 亨
教育部 庶務課長	根建 明

\* 8月の学校図書館推進部会参加者

小学校長	小島 英樹 (富士見小学校)
中学校長	不破 裕子 (東村山第七中学校)
小学校司書教諭	城戸 律雄 (富士見小学校)
中学校司書教諭	柴田 京子 (東村山第一中学校)



## 資料6 本計画案に対する市民意見募集の結果について

### 1. 市民意見募集の概要

(1) 期間

平成21年11月15日(日)～ 11月30日(月)  
(各図書館窓口は11月29日(日)まで)

(2) 周知方法

市報11月15日号、ホームページ  
各図書館内のポスター・ちらし  
東村山子ども読書連絡会(11月19日)での案内  
東村山市立図書館協議会委員への案内

(3) 公表方法

市役所情報コーナー・各図書館での閲覧および配布  
ホームページへの掲載  
東村山子ども読書連絡会(11月19日)での説明

(4) 応募資格

市内在住・在勤の方

(5) 意見受付方法

各図書館窓口・郵便・ファクシミリ・電子申請(電子申請で送付できなかったという申し出が2件あり、電子メールにて受付)・東村山子ども読書連絡会

(6) 受付意見数

提出者数 14人  
件数 27件

提出方法 内訳

- ・ 図書館窓口 5人
- ・ 郵便 0人
- ・ ファクシミリ 1人
- ・ 電子申請 0人
- ・ 電子メール 2人
- ・ 東村山子ども読書連絡会 6人

合計14人

## 2. 市民意見の概要およびそれに対する考え方

### 計画全般についての意見

- 綿密に練られ、丁寧に作られていると感じた。特に市民との連携が強調され、地域に根付いた姿勢が読み取れる。
  - 計画の目的を限られた予算と人員で推進していくためには、無難な計画にまとまったと考える。
  - 読書活動の更なる底辺拡大を目指すものと感じた。
- **市民の皆さんにご協力いただきながら、計画の目的に向かって様々な取り組みをすすめていきます。**
- 市立図書館内での子ども向けのイベント、例えば親子クリスマス会や親子の夜の図書館読書会などが出来れば楽しいのではないかと思う。
- **たくさんの親子に市立図書館を利用いただき、子どもが本に親しむことができるように、楽しいイベントを企画していきます。**
- 子どもと本を結びつけ、読書活動をより深化させるために、小学生時代からの継続的な読書記録の実践を勧めたい。例として小学生用と中学生用の「読書記録帳」の雛形を提案するので、それをもとに「読書記録帳」を作成し、ホームページに公開して、学校や家庭で活用してはどうか。
- **「啓発やPRのための施策」のひとつに位置づけ、『読書記録ノート』の作成と活用のPR』という取り組みを新たに入れました。子どもや保護者に楽しく使っていただけるものを作成し、市立図書館のホームページ等で紹介したいと考えます。**
- 生活に読書を取り入れるようにするために、幼児や小学校低学年くらいまでの時期に、身近な場所で本に触れることが大切だが、そのためには、園や学校の図書室の充実と、そこにかかわっている保育士、教師、保護者などの大人の意識啓発をしてほしい。
- **保育園、学校等身近な場所での本の充実につとめるとともに、「子どもの読書に関わる部署や施設の職員への本の情報・読書活動や図書整備に関する情報提供」を行い、意識の向上をはかります。また、保護者に対しても、様々な場面で読書の大切さについて啓発していきます。**
- ふれあいセンターでも本を置いているし、開館時間が長いので、本を置いてある場所のひとつとしてぜひPRしてほしい。
- **地域で子どもが本と出会う場所のひとつとして「子どもと本が出会える場所のマップ」等で紹介していく予定です。**

## 「乳幼児への取り組み」についての意見

- ・ 「子育て中にたくさんの絵本と出会えるまち」を合言葉に、第1次計画で挙げられた取り組みがすでに着々と具現化されている。特に、読み聞かせボランティアの派遣は、読み聞かせをしてもらう親子のためのみならず、ボランティアの方も子どもから元気をもらい社会貢献の機会を得られ、さらには、世代間交流の場にもなるという副産物をも生み出した素晴らしい取り組みである。しかも、ボランティアに丸投げするのではなく、養成・研修・交流の機会を作り、図書館がしっかりまとめている。

→ 第2次計画においても、引き続き読み聞かせボランティアの皆さんのご協力をいただきながら、「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりの充実をはかっていきます。

## 学校・学校図書館についての意見

- ・ 学校図書館に専任・専門の人が配置されないまま、ボランティア頼みでは限界がある。学校図書館への職員配置の検討を真剣に考えてほしい。
- ・ 専門家の配置が無理なら、市立図書館の中に学校図書館部をつくって、中心的に支援体制を組んでほしい。
- ・ 調べ学習の支援や図書館活用指導を地域の市立図書館がイニシアティブを取って実施してほしい。「本のさがし方・調べ方プログラム作成」の実現を期待する。
- ・ 教師に図書館活用の重要性を認識してほしい。
- ・ 学校図書館は専門性が必要な仕事だと思う。
- ・ 子どもが一番長くいる学校の図書館に専門的な職員がいないことは残念。子どもが育つ時に本を手渡す人が必要だと思う。長年の要望であり、財政難であっても学校司書の配置はぜひ実現させていただきたい。
- ・ 中学校図書館に鍵がかかっているようでは生徒の居場所になれない。学校図書館が開いていて、専任の司書がいれば、いろいろな生徒の居場所になれるし、本を紹介することもできる。パソコンよりまず人だと思う。早くしないと毎年子どもは育ってしまう。
- ・ 教育の質に関わる問題でもあり、将来の東村山を背負って立つ子どもたちのために投資してほしい。
- ・ 学校間の意識の格差を感じる。「インターネットがあるから本での調べものはいらない」「字が読めるなら読み聞かせなんて必要ない」という意識の先生がいる。読書環境が整っていないと子どもが本に出会えない。皆がそういう意識を持っていないとなかなか進まないの、市立図書館から情報発信して先生方に意識を持ってもらうことが必要ではないか。
- ・ 司書教諭の仕事がとて多く、負担が大きい気がする。専門知識も必要であり、学級担任を持っている上では無理なのではないか。「学校図書館への職員配置の検討」ということばを実施にしてほしい。
- ・ 学校図書館ボランティアも子どもが卒業すると抜けていくので、下の学年のボランティアにノウハウが引き継がれない。「学校図書館整備ボランティアの育成と組織化」とあるように、個々の学校のボランティアではなく、市内共通の学校図書館ボランティアという位置づけで卒業した保護者ボランティアも活動できるように応援してほしい。

- 学校の読書環境を整えることと同時にボランティアの意識改革も必要である。ボランティアは自分の意識で動いており、全体が見えていないことがあるので、市立図書館でボランティアの舵取りもしてほしい。ボランティアとしても、常に学び、良きパートナーとして協力したい。

→ 「学校図書館への職員配置」については、第1次計画期間に「小中学校図書館への専門的な職員配置のあり方検討会」を設置しました。その後、名称を「学校図書館推進部会」と変更し、「職員配置のあり方」を中心に、総合的な学校図書館施策について検討してきました。その中で課題を整理し、図書購入方法の工夫や整備マニュアルづくりなどを進めてきましたが、専門的な職員配置については、その必要性は認識するものの、財政的な課題、組織的な課題などから第2次計画へ引き継ぐ形となりました。

「本のさがし方・調べ方プログラム作成」については、整備を終えた学校図書館で実施することがより効果的であると判断し、整備を優先して実施し、プログラムの一部を試行するに留まりました。

第2次計画においては、「本のさがし方・調べ方プログラム作成」「学校図書館への職員配置の検討」「学校図書館整備ボランティアの育成と組織化」「中学校図書館の利用時間拡大への支援」など第1次計画で課題として残った点について、特に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。（該当項目を太字にしています）

また、学校での読書推進において教員の果たす役割が大きいことから、「司書教諭ほか教員への支援」という項目についても新たに太字にしました。

### 「読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み」についての意見

- 「さわる絵本」もいろいろ出ているようなので、検討してほしい。
- 保護者が目の不自由な場合、子どもに読み聞かせをする時にどのような支援ができるかについても視野に入れてほしい。

→ 障害のある子どもや保護者が本に親しむことができるように、「さわる絵本」ほか様々な形態の本についての情報を集め、提供できるようにつとめます。

- 自閉症やダウン症の子どもたちに、絵本を読んだり、おはなしをしたりするのは、読み聞かせボランティアで実施できる可能性があるのではないかと。

→ 現在「読み聞かせボランティア」の皆さんにご協力いただきながら、市内のいろいろな場所で絵本の楽しさを届ける活動をしています。障害のある子どもに対しても、読み聞かせを実施できるように、機会や提供方法を検討していきます。

## 「東村山の地域性を活かした取り組み」についての意見

- 地域文庫「くめがわ電車図書館」の活動を支援するという言葉があるが、「多摩湖町児童図書館」の名前がないのはなぜか。
  - 「くめがわ電車図書館」は、市民による先進的な文庫であることはもちろん、西武鉄道の車体を利用したユニークな地域文庫として、東村山の名所のひとつとなっていることから「東村山の地域性を活かした取り組み」の中で取り上げました。車体は市立図書館の備品という位置づけにもなっています。「多摩湖町児童図書館」等の子どもの読書を支える市民活動については、「ボランティア・地域児童図書館への支援」として挙げてありますように、支援していきます。  
\*多摩湖町児童図書館は、残念ながら平成22年2月13日に閉館しました。
- くめがわ電車図書館について、財政的なことも含めて支援体制を強化する必要があると感じた。
  - 「東村山市地域児童図書館補助金交付規則」に則り、資金面の援助をするほか、「ボランティア・地域児童図書館活動の支援」として挙げてありますように、活動全体を支援していきます。
- 紙芝居サークル「原っぱ」による紙芝居の上演が挙げられていてうれしい。特に小学校高学年・中学生・高校生に対して、いのちの大切さを伝える紙芝居を上演することを、東村山独自の取り組みとして期待する。
  - 市立図書館の紙芝居講座をきっかけに結成された紙芝居サークル「原っぱ」は、中学生・高校生に対しても、いのちの大切さを訴える作品の上演ができる全国的にも注目されているサークルです。「いのちの教育」推進プランの一環として、紙芝居の上演を学校等に薦めたいと考えます。

## 啓発やPRのための施策について

- 啓発やPRのための施策が弱いと思う。市立図書館のすばらしさが市民にあまり認識されておらず、残念。図書館の取り組みをもっとアピールする必要がある。
  - 子どもの読書推進における市立図書館の機能として、館内サービスとバックアップサービスのふたつが挙げられますが、バックアップサービスについては表に見えにくい部分でもあり、PRの必要を感じています。より多くの方に活用していただくためにも、ホームページの充実はもちろん、様々な機会を捉えて市立図書館の取り組みを知っていただくようつとめます。

## 資料7 用語説明

### 人的体制充実のための施策

#### 東村山子ども読書連絡会（11ページ）

市立図書館主宰の連絡会。市内で子どもの読書に関わる活動をしている団体や個人をつなぎ、東村山市の子どもの読書推進についてともに考え、活動していくことを目的としている。平成14年5月発足。定例会を年2回開催。

#### 「子どもと本の人材バンク」（11ページ）

市立図書館が仲立ちとなる人材バンク。市内で読み聞かせ等子どもの読書に関わる活動をしている団体や個人と、読み聞かせの実演等を求める市内の機関や団体を結びつけることで、市内の人材を活用し、子どもの読書環境をより豊かにすることを目的としている。平成15年5月設置。

#### 地域児童図書館（11ページ）

市民が行う図書館活動で、「文庫」とも呼ばれている。子どもと本の出会いを大切にしようと考えている市民が、自宅や集会所を使い、子どもの本を自主的に収集して、貸出や読み聞かせ等を行う。

### 年代や生活環境に合わせた施策

#### 1. 乳幼児への取り組み

##### 「おすすめ絵本パック」（12ページ）

市立図書館が選んだ乳幼児向けの絵本20冊のセット。市内の子育て関連施設に専用の箱に入れて配置し、訪れた親子が自由に絵本を楽しめるようにしている。セット内容の更新やメンテナンスも行っている。

##### 児童厚生員（12ページ）

児童厚生施設（児童館・児童クラブなど）において児童の遊びの指導等を行う者。児童厚生施設とは、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的とする施設。当市の児童クラブでは、放課後、保護者が就労している家庭の1～3年生の児童等を保育している。

##### おひさま広場（12ページ）

乳幼児親子への子育て支援として、市内8か所の児童クラブの施設を曜日と時間を定めて開放したもの。身近な遊び場、保護者同士の交流の場として利用されている。

## 子育てひろば（12ページ）

保育園や児童館等を利用して設けた乳幼児親子のための集いの場。子育てについての相談や講座などの支援も行う。東京都の施策のひとつとして各自自治体で実施している。

## 特別貸出（12ページ）

市立図書館で、学校や子育て関連施設、読書活動をする市民団体等に、たくさんの本を長期間貸出する制度。学級文庫や調べ学習、読み聞かせ等に利用されている。学校等へは本の配送も行う。

## 2. 小学生・中学生への取り組み(全体)

### ストーリーテリング（13ページ）

語り手が昔話などの物語を覚えて語ること。

### ブックトーク（13ページ）

ひとつのテーマにしたがって、数冊の本を順序立てて紹介すること。

## 5. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み

### 東村山布の絵本企画室（15ページ）

昭和57年に発足したボランティアグループ。障害のある子どもが、楽しみながら機能訓練ができるように工夫された布の絵本・遊具を製作している。障害のある子どもたちへの個人貸出も行う。また、市立図書館主催の行事「布の絵本プレイルーム」に協力している。

### 郵送貸出（15ページ）

視覚障害者、身体障害者への、各種図書館資料の郵送による貸出。

### 東村山朗読研究会（15ページ）

昭和50年に発足したボランティアグループ。市立図書館の障害者サービスとしての、視覚障害者への録音テープ作製や、対面朗読などに協力。

### 対面朗読（15ページ）

視覚障害者への、対面による本の朗読。

### 希望学級（15ページ）

何らかの理由で登校の困難な児童・生徒に対し、学級復帰に向け、教育的支援と指導を目的とした学級。大岱小学校内にある健全育成学習室を指す。

### 東村山第三中学校萩山分校（15ページ）

都立萩山実務学校（児童自立支援施設）内にある市立中学校。

## 6. 東村山の地域性を活かした取り組み

### 東村山市「いのちの教育」推進プラン（16ページ）

東村山市「いのちの教育」推進プラン策定協議会の報告書（平成14年）を踏まえて、次代を担う子どもたちに「いのちの大切さ」「人を思いやるこころ」を培うために実施する事業。

### 「いのちとこころの人権の森宣言」（16ページ）

平成21年9月28日、国立療養所多磨全生園が設立100周年を迎えるにあたり、東村山市が行った宣言。全生園の豊かな緑と人権の歴史を国民共有の財産として長く後世に受け継いでいくため、これらの緑や歴史的建造物を含む全生園全体を「人権の森」と位置づけ、市民とともに保存に向けた支援を行っていくことを謳っている。

### 国立ハンセン病資料館（16ページ）

平成5年、高松宮記念ハンセン病資料館として、国立療養所多磨全生園敷地内に開館。全国のハンセン病療養所や国内外の関係機関から数多くの資料を収集し展示している。平成18年に、国立ハンセン病資料館としてリニューアル開館。

### 国立療養所多磨全生園（16ページ）

明治42年、第一区連合府県立全生病院として市内青葉町に開院。昭和16年に国に移管され、国立療養所多磨全生園に改称。

### 「くめがわ電車図書館」（16ページ）

昭和42年、市内美住町久米川公園内に西武鉄道の車体を利用し、子どものための地域文庫として開館。団地建て替えに伴い、平成13年には2代目の車両で再開館（車両は都市基盤整備公団より市に寄贈）。本の貸出や読み聞かせを中心に、地域の子どもや子どもに関わる大人たちの読書活動を支える地域コミュニティとして、幅広い活動を展開している。

## 啓発やPRのための施策（全体に共通するもの）

### 「子ども読書の日」（16ページ）

「国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため」に設けられた日。「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日と定められている。

### 「国民読書年」（16ページ）

「文字・活字文化振興法」の制定から5年目にあたる平成22年を新たに「国民読書年」と定めたもの。国を挙げて読書に関する様々な活動の活性化をはかる。



## 第2次東村山市子ども読書活動推進計画

平成22年3月

発行 東村山市

編集 東村山市教育委員会教育部図書館

(事務局)

問い合わせ先 東村山市立中央図書館

〒189-8501 東京都東村山市本町 1-1-10

TEL:042-394-2900 FAX:042-394-4107

Eメール:tosyokan@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

図書館ホームページアドレス:

<http://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp>